

発議第 3 号

従来の「紙」の健康保険証の廃止を撤回し、発行再開・存続を求める意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

令和7年3月14日

提 出 者

八雲町議会議員 横 田 喜世志

賛 成 者

八雲町議会議員 佐 藤 智 子

八雲町議会議長 千 葉 隆 様

従来の「紙」の健康保険証の廃止を撤回し、発行再開・存続を求める意見書

政府は2024年12月2日にこれまで使用されていた健康保険証を廃止して、マイナンバーカードと健康保険証を一体化した。健康保険証の廃止によって、任意であるマイナンバーカードの取得が事実上義務化されてしまう。また、全国で10万人以上の医師が加盟する全国保険医団体連合会が2024年8月から9月にかけて実施した調査では、回答した12,735の医療機関のうち約7割の8,929の医療機関でマイナ保険証に係るトラブルが報告されている。

2024年12月時点でのマイナ保険証の利用率は、国民全体の25.42%にすぎない。昨年10月下旬からは解除申請の受付が開始され、12月時点で、4万5,214件の解除申請が行われており、国民の不信や不安があらわになっている。

厚生労働省は医療機関を受診する際に、マイナ保険証を使用した際のトラブルに対応するため、各保険者が発行する「資格情報のお知らせ」を携帯するよう推奨しているが、従来の「紙」の健康保険証があれば、必要ないことである。

昨年の10月時点で国民全体でのマイナ保険証の登録率は62%であり、約4割は登録していない。そのため、マイナ保険証を持たない方への資格確認書の交付が必要とされるなど、従来の「紙」の保険証を存続させれば、必要のない手間とコストも生じている。

よって、国には、従来の「紙」の健康保険証の廃止を撤回し、発行再開・存続させることを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月14日

北海道二海郡八雲町議会議長 千葉 隆

【提出先】

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
厚生労働大臣
デジタル大臣